鉄道で行く千葉

第1回 JR総武本線 その❶

Sobu Line Part:1

JR総武本線を走る、房総カラーの211系電車（日向付近）

- 千葉
- 東千葉
- 都賀
- 四街道
- 物井
- 佐倉
- 南酒々井
- 榎戸
- 八街
- 日向
- 成東
- 松尾
- 横芝
- 飯倉
- 八日市場
- 干潟
- 旭
- 飯岡
- 倉橋
- 猿田
- 松岸
- 銚子

JR総武本線千葉駅を出発。千葉のいちばん東、銚子駅へは、約2時間。
海や畑、大きな空。千葉のいろいろな風景が楽しめます。

JR総武本線は東京からJR千葉駅を経由し、銚子駅までをつなぐ路線です。通称として、JR三鷹駅と千葉駅を結ぶ区間を「総武線」、JR千葉駅から銚子駅に向かう電車や特急を「総武本線」という呼び方で皆さんに親しまれています。

総武本線が開通したのは、今から110年以上も前の1894年(明治27年)7月です。もともと総武鉄道株式会社という民間の会社によって作られました。

1907年(明治40年)国有化され、官設鉄道(国が運営する)の総武本線となりました。

路線が御茶ノ水まで伸ばされ、ほぼ現在の形が整ったのは、1932年(昭和7年)のこと。他の国鉄線とも連絡するようになり、この頃から車両も急速に電化が進むようになります。

路線の名称になった、会社名「総武」の由来は上総国(かずさのくに)・下総国(しもうさのくに)(現在の千葉県)と武蔵国(むさしのくに)(現在の東京都)を結ぶことから来ています。

現在活躍中のJR総武本線の車両

(普通)209系2000番台

113系や211系が古くなったので、2009年10月から新しく登場した車両です。車体がとても軽く、使用電力が少ないのが特長。トイレも設置されています。

(普通)211系3000番台

211系は、1985年に登場した車両です。総武本線には、2006年10月から投入され、黄色と青の帯は房総カラーとして親しまれています。

(快速) E217系

総武快速線で運用されていた113系の入れ替えを目的として1994年に登場しました。現在は、千葉と横須賀線・総武本線に使用されている快速専用車両です。(成東まで)

(特急)しおさい　255系

1993年にJR東日本初の新制御システム採用の特急車両として登場しました。愛称は「Boso View Express」。千葉県房総半島を走行することから「房総特急」とも呼ばれています。

(特急)しおさい　E257系

2005年から投入され、房総特急のイメージカラーであるホワイト(夏のビーチ)をベースに、ブルー(深みのある太平洋)・イエロー(明るい陽光と房総に咲く菜の花)によってデザインされています。

◆総武本線の歴史

history

◎1894年(明治27年)7月20日
総武鉄道 市川～佐倉間開業。
◎1897年(明治30年)
佐倉～成東間延伸開業／5月1日。
成東～銚子間延伸開業／6月1日。
◎1907年(明治40年)9月1日
鉄道国有法により買収、国有化。
◎1909年(明治42年)10月12日
国有鉄道線路名称設定　総武本線。
◎1965年(昭和40年)9月30日
千葉～四街道間複線化。
◎1966年(昭和41年)9月25日
四街道～物井間複線化。
◎1968年(昭和43年)
物井～佐倉間複線化／2月25日。
千葉～佐倉間電化／3月28日。
◎1974年(昭和49年)10月26日
佐倉～銚子間電化。全線電化完成。

●1967年(昭和42年)
総武本線　佐倉～物井(四街道市)
C57 8。鉄道の電化は1932年(昭和7年)くらいから徐々に広がっていきましたが、総武本線においては、まだ蒸気機関車が走っていました。

●1969年(昭和44年)
総武本線　南酒々井

キハ28系気動車急行「犬吠(いぬぼう)」。気動車とはディーゼルカーのこと。

この頃、蒸気機関車は姿を消し、"気動車王国千葉"と言われるほど、県内では気動車が活躍していました。

車窓からの風景

スペシャルビューポイント

銚子市の巨大風車群!

銚子駅に向かう列車が猿田駅に差し掛かる辺りから、左右の車窓に見事な建造物が見られます。それは巨大な風力発電のためのプロペラ。この周辺に10基以上が設置されています。タワーの高さは約65メートル。プロペラの羽の直径は70メートル以上のものもあります。天気の良い日には、青空と真っ白な風車のコントラストが見事です。

謎の青い塔!

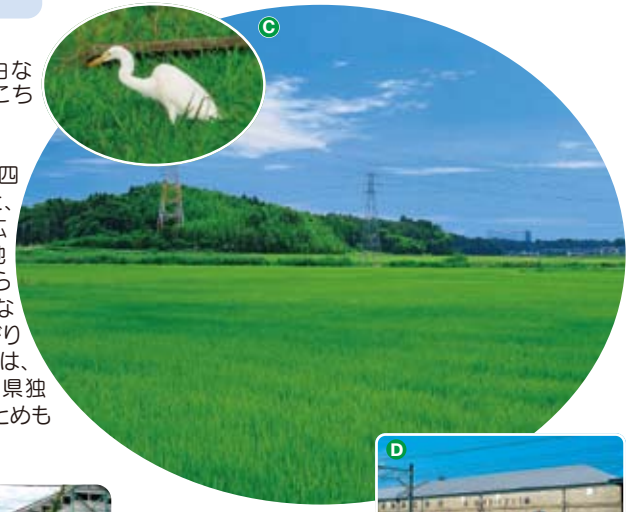
千葉駅から約15分ほどで物井駅に到着。みなさんここから、よく目を凝らしてください。物井駅を出発してすぐ。進行方向左側、広々とした水田の向こうの小高い山の上に注目。そこに、なんとも不思議な青い塔が立っています。この正体は!正式名称、羽鳥調圧塔。工業用水を供給するために建設された施設の一部です。

JR総武本線に乗って。

JR千葉駅から総武本線に乗って、銚子駅へ向かいます。千葉駅〜銚子駅間は、稲作地帯、田園地帯、さらに街並みや川、海と、千葉県のいろいろな魅力を一度に味わえます。

季節ごとに収穫される農作物の知識など、ほんの少しでも仕入れていくと、車窓一杯に広がる風景がもっと楽しく見えるでしょう。

四街道付近の水田地帯!



獲物を狙う真っ白なサギの姿もあちこちに見られます。

千葉駅を出発し、四街道駅を過ぎると、進行方向右側に広がる広大な水田地帯。ここからしばらくは、左右に見事な水田の風景が広がります。この辺りでは、コシヒカリや千葉県独自の品種、ふさおとめも作られています。

八街駅北口には特産の落花生のモニュメントがあります。

成東駅には、総武本線の前身、総武鉄道を設立した安井理民の業績をたたえる「魁」の碑が建てられています。

横芝駅を出発すると、栗山川を越えます。栗山川では、毎年、鮭の稚魚が放流され、これまでに多くの鮭が川に戻ってきています。

八日市場駅を過ぎると、左側にたくさんの植木が並べられているのが見えます。八日市場駅のある匝瑳市は日本有数の植木の街として有名です。

進行方向左。八街駅に到着する直前、駅北口に並ぶ、歴史を感じさせる大谷石づくりの倉庫。

古い木造駅舎も健在。

JR松尾駅

JR八日市場駅

昼食に是非オススメ!

JR千葉駅構内 万葉軒にて!

920円(税込価格)

沖じめ鰯(いわし)づくし弁当

列車に乗った瞬間に、海を味わえるうれしいお弁当。

しらすがひかれたご飯の上に、美味で知られる飯岡漁港の「カタクチ鰯」の酢漬けがところ狭しと並べられ、鰯つみれや郷土料理「自家製鯛味噌」が絶品脇役として、味を盛り上げます。

1,100円
(税込価格)

JR千葉駅名物 やきはま丼

大人気の「やきはま丼」は、焼蛤串、蛤の白焼、そして煮蛤と、一度に三種の味が楽しめます。

牛蒡(ごぼう)の炊き込みご飯との相性も最高。思わず、持ち帰りたくなる「はまぐり」型パッケージがうれしい一品です。

JR総武本線沿線の、家族で出かけられる遊び場情報

鉄道で出かけよう！

車窓からの風景や道草を思い切り楽しんだら、今度は本格的に遊べる場所を訪ねてみましょう。電車を使えばすぐに出かけられ、家族で思い切り楽しめるポイントをご紹介します。

国立歴史民俗博物館（れきはく）

日本の文化、歴史、民俗について総合的に研究・展示する博物館です。

展示は、世界をオセアニア、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、それに日本を含むアジア各地域に分け、オセアニアを出発して東回りに世界を一周し、最後に日本にたどり着く仕掛けです。

常設展示以外にも、年間を通して企画展示がおこなわれています。お出かけの時の展示内容は、公式サイトでご確認ください。

小学3～6年生を対象に、歴博探検というイベントが開かれています。これは、歴博の先生（研究者）が探検隊長として展示室などをわかりやすく説明しながらみなさんと探検をするもの。ふだんは入れないバックヤードに入ることもあります。開催日は、公式サイト内、「子どもサイト」のコーナーでご確認ください。

- ●開館日／火～日　午前9時半～午後5時
  （10月～2月は午前9時半～午後4時半）
  ※入館は閉館の30分前まで
- ●休館日／毎週月曜日
  （※ただし、月曜日が祝日の場合は翌日が休館日）
  年末年始（12月27日から1月4日まで）
- ●料　金／<個人>一般420円、高校・大学生250円、
  小・中学生 無料
  ※毎週土曜日、高校生は入館無料
- ●交　通／JR総武本線佐倉駅からバスで15分
- ●駐車場／あり　無料駐車場250台
- ●問い合わせ／ 043-486-0123
- ●住　所／〒285-8502　千葉県佐倉市城内町117
- ●公式サイト（http://www.rekihaku.ac.jp/）

蓮沼海浜公園

蓮沼海浜公園は九十九里の自然に囲まれた、全長4km、広さ40万㎡のみどり豊かな公園です。海を身近に感じながら、さまざまな遊びがご家族で楽しめます。夏はもちろん、海への出入りが自由な13のプール「蓮沼ウォーターガーデン」がおすすめ！

地上30mの展望台からは、360度のパノラマで太平洋から内陸の平野が楽しめます。

森林を駆け抜ける日本一長い「ミニトレイン」。小さなお子さんでも安心して楽しめます。ほかにもマウンテンコースター「ベルーガ」などのお楽しみ施設が揃っています。

- ●開園日／ 土、日、祝祭日、春・夏・冬休み期間、GW期間
  4月～10月<10:00～17:00>
  11月～3月<10:00～16:00>
  ※悪天候時、休園する場合あり。
  （ウォーターガーデンは夏季のみ〈9:00～17:00〉）
- ●交　通／JR総武本線横芝駅下車→循環バスまたは
  タクシー 20分
- ●駐車場／大型駐車場あり（普通車800円）
- ●料　金／（ウォーターガーデン）
  おとな1,400円、高校生1,000円、
  小中学生500円、幼児4才以上220円
- ●問い合わせ／蓮沼海浜公園管理事務所　0475-86-3171
- ●住　所／〒289-1800 千葉県山武市蓮沼ホ203

駅前発見！探してみよう！

JR千葉駅前を見下ろす謎の鳥

JR千葉駅中央改札を出て、左のモノレール方面に歩くと、駅舎に寄り添うように立つ交番の姿。駅前に良くある光景か、と思いきや。少し離れてこの交番を見上げてみると、なんと建物全体が、あのフクロウの形をしているではないですか。

実はこれ、モノレールの大きな柱など、鉄骨に囲まれたJR千葉駅前広場を人口の森と見立てて、森の守り神、森の哲学者として親しまれているフクロウをイメージして設計したそうです。きっと、皆さんの寝静まった夜に目を光らせるという意味もあるのでは、と思ったら案の定、本当に夜、目を光らせるのです。

調べてみよう！総武線クイズ？

総武線、その名前の由来は次のどれ？

1. 総武竹次郎さんが作った鉄道のため
2. もともとこの一帯を総武家が支配していた
3. 上総・下総、武蔵を結ぶ路線だったため

※正解は次号紙面で！

写真提供／国立歴史民族博物館　千葉県レクリエーション都市開発(株)　(株)万葉軒

2009.10（次回発行／ 2009年11月24日）

京葉銀行 BANK

ミックス品 FSC認証林及び管理された森林からの製品グループです www.fsc.org Cert no. SGS-COC-001466 © 1996 Forest Stewardship Council

VEGETABLE OIL INK この冊子の印刷には、環境に配慮した植物性インキを使用しています。